

平成27年大豆栽培暦

万来屋物産株式会社
担当
携帯

月	6月		7月		8月			9月			10月			11月			
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
ユ タ ク カ	播種最適期				開花・幼莢伸長期						子実肥大期			成熟期			
主 な 作 業	種子消毒 暗渠施工 土壌改良資材散布 元肥散布		中耕① (本葉3枚時) 播種 除草剤散布		中耕② (本葉4~5枚時)			防除① (ハスモンヨトウ)			防除② (ハスモンヨトウ カメムシ 紫斑病)			補正防除 (カメムシ)		雑草抜き取り 収穫	
← 干ばつ時 うね間灌水 →																	

1. 土作り

資材名	施用量(10a当り)	備考
有機物	自然の輪	100~150kg 地力増強・土壌微生物の改善
石灰資材	生石灰	100~150kg 土壌Phに応じて、加減する
	バイタリー	80~100kg Phを上げて苦土も補給 苦土生石灰



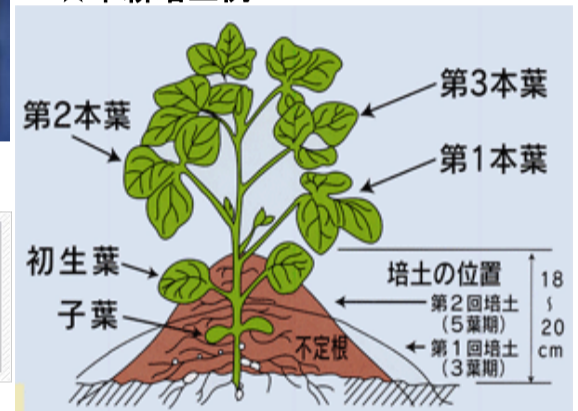
土壌のPhにより、加減して下さい。
麦わらをすきこまない場合は、有機物の施用は、地力を上げるのに効果的です。

2. 施肥準備

地力	資材名	施用量(10a当り)	成分比率		
			N	P	K
低	ハイパワー484	20kg	2.8	3.2	2.8
中	金時化成	20kg	0.8	3.0	3.0
高	くりんか	10~20kg	0	3.0	3.0
7月25日以降	ハイパワー484	20kg	2.8	3.2	2.8



☆中耕培土例



状況により、肥料の増減を行ってください。

☆品質向上・増収を目指すには！☆

肥料名	成分	施肥量	備考
ハイグリーン	苦土 微量元素	30~45kg	根粒菌の活性化 収量増加・品質向上に！
ホスピタ	ハイグリーン リン酸5%	40kg	即効性リン酸の力で 根張りアップ！



3. 種子消毒

①10a当り、4kgの種子を用意する。 ②鳥害防止・紫斑病予防のため、必ず種子消毒を行う。

薬剤名	処理方法	処理量	使用時期	備考
キヒゲンR-2フロアブル	塗沫	種子10kgに対し200cc	播種前	すばやくまぶしてください。

4. 播種基準

播種最適期									播種直後の雨等の湿害回避のため、うね立て播種を行う 早すぎる播種は、過繁茂になるため、行わない。 播種の深さは、3cmを基準とし、乾燥が予想される場合は、 4~5cmと深めにする。
7月10~7月14日頃			7月15日~7月20日			7月21日~7月25日			
条間	株間	株間	条間	株間	株間	条間	株間	株間	
70cm	×	25cm	70cm	×	25~20cm	70cm	×	15cm	

5. 除草剤

時期	除草剤名	対象雑草	使用量(10a)	時期	注意事項
初期	ラクサー乳剤	1年生雑草	500ml	播種後発芽前	種子が露出しないようにして下さい。
	トレファノサイド粒剤	1年生雑草	4~5kg	播種後発芽前	過湿土壌での散布は行わないでください。
中期	ポルトフロアブル	1年生雑草	250ml	イネ科雑草3~6葉期	広葉雑草、カヤツリグサ科には、効きません。
	大豆バサグラン	1年生雑草	400ml	雑草3~6葉期	イネ科雑草には効きません

雑草(スギナ)が多い圃場では、ラウンドアップ 500mlを耕起前~播種後の間に散布する。

雑草が多い圃場では、プリグロックスL 1000ccを播種後~発芽前の間に散布する。

6. 乾燥対策

開花期以降、圃場が白く乾燥し始めた場合は、夜間に、うね間灌水を行いましょう。長時間の灌水は、根腐れを起こします。

根腐れ防止として、MPBを10a当り1L流し込むと効果的です。

7. 病害虫防除

時期	時期	対象雑草	除草剤名	使用量(10a)	注意事項
防除①	8月下旬	ハスモンヨトウ	プレバソフロアブル	25ml	蚕に対して、毒性があります。
			フェニックス顆粒水溶剤	50ml	
			ペガサスフロアブル	25~50ml	
防除②	9月中旬	ハスモンヨトウ	プレオフロアブル	50~100ml	水生動物(甲殻類)に毒性があります。 ミツバチ・蚕に毒性があります。 展着剤は使用しないでください。
		カメムシ	キラップフロアブル	50ml	
		紫斑病	アミスター20フロアブル	50~75ml	
補正防除	10月中旬	カメムシ	スタークルメイト液	100ml	ミツバチ・蚕に毒性があります。

用法・用量を守り、廃液・ボトルなどは、きちんと処理していただくようお願いいたします。

収穫

収穫時は、茎が「ポキッ」と折れる状態で、尚且つ、子実水分が18%以下で開始する。

雑草、青立ち株は、品質低下の原因になるので、収穫前に必ず抜き取ってください。